



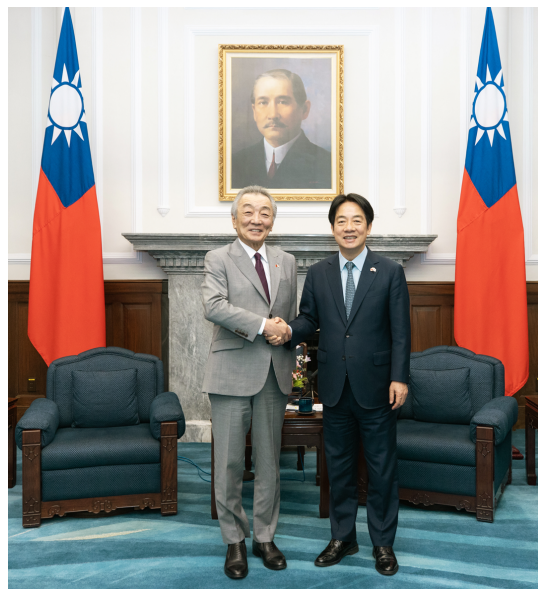
台湾訪問

台湾との友好の絆、確かなものに

今年5月4日から6日にかけて、神奈川県日華親善協会会長、また元国会議員として、田中和徳衆議、佐々木紀衆議と自民党訪問団を結成し、要人との交流のため台湾を訪問しました。台湾政府からは最大限の接遇をしていただき、総統、副総統をはじめ日本でいう大臣、副大臣相当の役職を持つ多くの首脳とも友好的な関係を築くことができました。

これは台湾政府が今後の日台関係において私たち自民党へ大きな期待を寄せる表れであり、感謝とともに重要な責任を感じるところでもありました。

私個人としても、防災に関する意見交換や医療についての協力関係を強化する話し合いができ、大変有意義な3日間となりました。この台湾訪問をきっかけに、更なる日台両国の関係強化に努めてまいります。



頼清徳(らいせいとく)台湾総統謁見。頼総統は台湾海峡の平和と安定の重要性を表明、私は「神奈川県日華親善協会会長の職責を全うしたい」とお伝えしました

「まさかの時の友は、真の友」



●蕭美琴(しょうびきん)台湾副総統謁見

副総統より「総統官邸に多くの新旧の友人を迎えることができ大変嬉しく思う。台湾に対する自民党訪問団の長期的な関心と支援、そして長期的な友情に感謝する」とのメッセージをいただきました。

●台湾人の83%が「日本が好き」

懇談の席では元防災担

当大臣として、東日本大震災発生後、寄せられた多大な義援金への御礼、その後のコロナ禍で不足したマスクや医療機器の相互提供、さらに2024年4月に台湾東部で発生した地震(震度6強)への日本からの復旧支援など、官民を超えた両国民の友好の尊さに深い感謝の意をお伝えしました。



台湾人の83%が「日本が好き」、日本人の「台湾が好き」は77%。「この差を埋めたい」とご挨拶



●迪化街(てきかがい)視察

台北で最も古い問屋街のひとつ、迪化街(てきかがい)を視察、フカヒレ、からすみ等の乾物や漢方薬などの老舗が立ち並び通りは、ノスタルジックな都市景観が保存され、古き良き観光名所としての魅力を醸し出していました。

台湾訪問

医療の最先端技術、災害対策の基本政策

●バイオテクノロジー企業・Dr.SIGNAL 視察

自動化された細胞生産ラインを持ち、他社の委託を受け医薬品製造を行うバイオテクノロジー企業、Dr.SIGNAL を訪問しました。秘心吾(ひしんご)博士から幹細胞培養治療の説明を受けた後、企業内のラボで「幹細胞の培養行程」を見学。今までは100人のプロフェッショナルが必要だった工程が、AIを活用した自動化システムによりほぼ無人で行われています。今後、再生医療の需要はますます高まると予想されますが、最先端の技術を使うことで、早く、費用を抑えて対応できるようになります。日本でもこうした工場が増えれば創薬や医療の発展に結びつく、と考えながら説明に耳を傾けました。



●内政部・劉世芳(りゅうせいほう)部長 面談

※部長：日本での大臣にあたる

災害対応に関する意見交換で、台湾内政部では大地震などに備えて社会全体防衛強靱化委員会を組織しているとのこと。また台湾では災害発生時に民間団体を積極的に活用し、自分たちのコミュニティは自分たちで守ることを基本としているが、どうしてもそれができないときに限り支援サービス法があり、県や市に頼る施策が整備されているそうです。ともあれ共に大規模地震が多発する国として、これからも両国で連携をしていくことを確認しました。

台湾訪問

半導体製造、医療保険制度について

●外交部・陳立国(ちんりっこく)常務次長 面談

※次長：日本での副大臣にあたる

陳常務次長は「半導体製造企業TSMCの件で日本の手助けがなければサプライチェーン(製品の原材料から販売までの一連の流れ)を担う企業になれなかった。これから日本の国会議員、政府関係者、企業、若い方達との交流を深めていきたい」と述べられました。



●衛生福利部・呂健徳(ろけんとく)次長 面談

台湾の医療保険制度では、毎月の給与から保険料が徴収されているとのこと。60歳以上では県や市から補助があり月額4,400円の保険料徴収。90%の人はこの医療制度に満足しているそうです。今後も情報交換を続ける約束をしました。

※今回の訪台で大変お世話になった、台湾日本語国際化協会の呉其哲理事長、何昇融氏、陳秉軒氏に心より感謝申し上げます。